

[第 7 章]



第 1 節 協働によるまちづくりの推進

— 目指す姿 —

- 地域の住民や団体が主体となり、連携することで地域の課題解決や地域づくりに取り組むまち
- 市民一人ひとりが、性別や国籍等に関係なく、個性と能力を發揮することができるまち
- 市民との対話や情報公開・共有により、市民との協働によるまちづくりが進むまち

満足度・重要度 領域マップ



関係する個別計画

- 西条市地域コミュニティ基本指針
平成 30 年度～
- 第 2 次西条市男女共同参画計画
平成 28 年度～令和 7 年度

市民からの声

- 市民活動にもっと協力的であってほしい。
- 地域住民との関わりを大切にできる場や時間を作っていければいいと思う。

施策の内容



(1) 地域課題に主体的に取り組む地域コミュニティを構築します

少子高齢化や人口減少が進む中においても持続可能な地域コミュニティを構築するため、地域住民が中心となって地域課題の解決に向けた取組を積極的に進められるよう、地域住民や関係団体等の活動を支援します。

指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和 11 年度)
課題解決に向けた話し合いを実施する地区を増加します (累計)	13 地区 (令和 5 年度)	25 地区

(2) 地域の課題解決にチャレンジする皆様に支援します

地域の特性や課題に応じた地域づくりに取り組む市民活動団体が活動しやすい環境を整備することで、地域の自立と活性化を目指します。

指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和 11 年度)
市民活動支援センターの登録団体数を増加します (累計)	157 団体 (令和 5 年度)	225 団体
NPO法人数を増加します (累計)	31 団体 (令和 5 年度)	45 団体
ふるさと納税で支援する市民活動団体を増加します (累計)	11 団体 (令和 5 年度)	20 団体

(3) 多文化共生及び男女共同参画を推進します

市民一人ひとりが、性別や国籍等に関わりなく個人として尊重され、責任を分かち合いながら個性と能力を十分に発揮でき、ともに生き生きと暮らせる多様性と包摂性のある社会の実現を目指す取組を進めます。

指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和 11 年度)
各種国際交流イベント、語学講座への参加者数を増加します	1,647 人 (令和5年度)	2,100 人
市が設置する審議会等における女性委員の割合を向上します	25.6% (令和5年度)	30.0%
市職員の女性管理職の登用率を向上します	18.6% (令和6年度)	25.0%

(4) 広聴制度の充実を図ります

市民との協働によるまちづくりを進めることができるよう、市民の意見や提言を幅広く聴くための場を創出します。

指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和 11 年度)
地域の課題等について意見交換するタウンミーティングを開催します (累計)	12 回 (令和 5 年度)	70 回 (令和 7 ~ 11 年度)
市長と井戸端会議への参加団体数を増加します (累計)	19 団体 (令和 5 年度)	100 団体 (令和7~11年度)

1 健康やに生き生きと暮らせるまちづくり

2 豊かな自然と共生するまちづくり

3 快適な都市基盤のまちづくり

4 災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくり

5 ふるさとを愛する豊かな心を育む教育・文化のまちづくり

6 活力あふれる産業振興のまちづくり

7 構想の実現に向けて

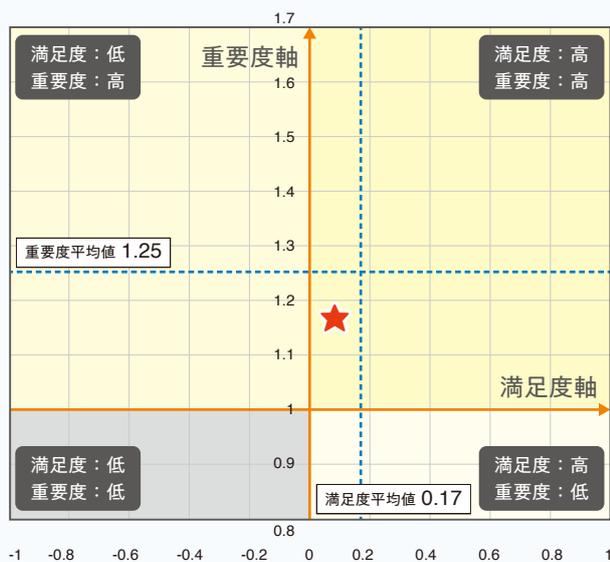


第2節 人口減少対策とシティプロモーションの推進

— 目指す姿 —

- 市民が西条市の魅力を誇りに感じ、住んでよかったと実感することができるまち
- 西条市の活気を持続可能なものとするため、移住・定住や人的交流が盛んなまち

満足度・重要度 領域マップ



関係する個別計画

- ◎ 西条市シティプロモーション戦略
令和7年度～令和11年度

市民からの声

- 市内外に向けた情報発信力を強化してほしい。
- 人口減少社会に向けたまちづくりの方向性やビジョンを明確にしてほしい。

施策の内容



(1) 市民のまちへの愛着や誇りの向上を図ります

市民に対してまちへの愛着と誇りを醸成するため、まちの地域資源や魅力の発掘・再発見に関して、従来の行政主体の「To人々」型から、市民がともに魅力を創出して発信する「With人々」型の対内的なプロモーション活動に取り組みます。

指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和 11 年度)
まちやひとの魅力を発信する広報紙の特集記事 (4 頁以上) を増加します (累計)	6 記事 (令和 5 年度)	35 記事 (令和 7 ~ 11 年度)
LOVE S A I J Oファンクラブ会員のうち市内会員数を増加します (累計)	1,178 人 (令和 5 年度)	1,450 人

(2) まちのイメージ向上を図ります

西条市の様々な地域資源や魅力をストーリー化・パッケージ化して西条ブランドの付加価値を高め、多様なメディアやSNSによる情報発信を行うことで、首都圏・関西圏在住者を主なターゲットとした対外的なプロモーション活動を行います。

指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和 11 年度)
パブリシティ活動によるテレビ・雑誌等の広告換算費を獲得します (累計)	20 億円 (令和 2 ~ 5 年度)	25 億円 (令和 7 ~ 11 年度)
公式WEBサイト訪問数 (セッション数) を増加します	225 万 9,000 件 (令和 5 年度)	250 万件
公式LINEの「友だち」登録数を増加します (累計)	17,800 人 (令和 5 年度)	20,000 人

(3) 市外からの移住者を増加します

市外からの移住者が増加するよう、効果的なプロモーション活動の展開や移住相談会の集客増に努めるとともに、移住体験ツアーやアテンドサービス[※]等に積極的に取り組みます。

指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和 11 年度)
移住体験ツアーやアテンドサービス等を活用した移住者数を増加します (累計)	89 人 (令和5年度)	500 人 (令和7~11年度)

(4) 関係人口の創出・拡大を図ります

移住者の裾野を広げるため、多様な媒体による情報発信や「LOVE S A I J Oファンクラブ」の強化・拡充に努めるとともに、大学等との連携も行うことにより、西条市への関係人口・交流人口の創出と拡大につなげます。

指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和 11 年度)
LOVE S A I J Oファンクラブ会員のうち市外会員数を増加します (累計)	2,543 人 (令和 5 年度)	3,200 人
Instagram (旧大阪事務所) フォロワー [※] 数を増加します (累計)	177 件 (令和 5 年度)	600 件
大学・研究機関との交流人口を増加します (累計)	1,317 人 (令和 2 ~ 5 年度)	2,000 人 (令和7~11年度)

1 健やかに生き生きと暮らす
福祉のまちづくり

2 豊かな自然と
共生するまちづくり

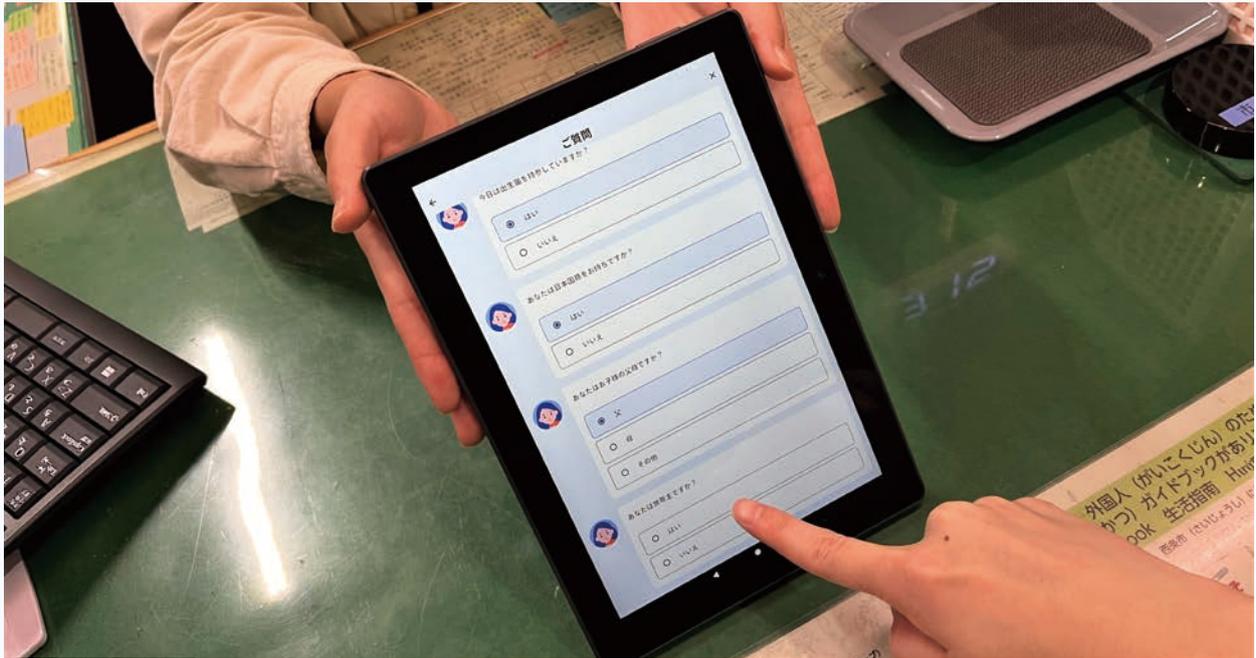
3 快適な都市基盤の
まちづくり

4 災害に強く安全で安心して
暮らせるまちづくり

5 ふるさとを愛する
豊かな心を育む
教育・文化のまちづくり

6 活力あふれる
産業振興のまちづくり

7 構想の実現に向けて

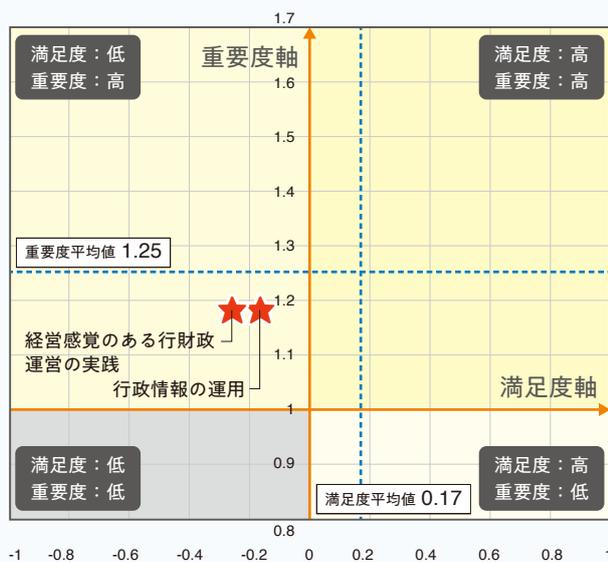


第3節 行財政運営の推進

— 目指す姿 —

- デジタル技術の活用により、利便性と質の高い市民サービスを実感できるまち
- 中長期的な視点から健全な行財政運営が行われているまち

満足度・重要度 領域マップ



関係する個別計画

- 西条市公共施設等総合管理計画
平成 29 年度～令和 38 年度
- 西条市個別施設計画 第 1 期計画
令和 3 年度～令和 8 年度
- 西条市 D X 推進戦略
令和 7 年度～令和 11 年度

市民からの声

- 財政の健全化に取り組んでほしい。
- 人口減少社会を見据えた行政のスリム化と効率化に取り組んでほしい。

施策の内容



1 健やかに生き生きと暮らす
福祉のまちづくり

2 豊かな自然と
共生するまちづくり

3 快適な都市基盤の
まちづくり

4 災害に強く安全で安心して
暮らせるまちづくり

5 ふるさとを愛する
豊かな心を育む
教育・文化のまちづくり

6 活力あふれる
産業振興のまちづくり

7 構想の実現に向けて

(1) DXの推進により、市民サービスの向上を図ります

西条市が目指すDXとは、単なるデジタル化ではなく、行政運営そのものを見直して再設計（リデザイン）し、新たな価値を生み出すことにあります。そのため、デジタル技術やデータを活用した市民サービスや利便性の向上と、職員の業務効率化を図ることで、行政の人的資源をサービスのさらなる向上につなげていくことを目指します。

指標（KPI）	基準値	目標値（令和11年度）
マイナンバーカードの保有率を向上します（累計）	75.6%（令和5年度）	80.0%
行政手続きのオンライン化率を向上します（累計）	20.3%（令和5年度）	74.4%

(2) 健全な財政運営を推進します

安定した財政基盤を確立するため事務事業の見直しを適宜行い、事務コストの削減と事業のスリム化等により、限られた財源の効率的運用に努めます。また、中長期的な試算に基づく市内公共施設の適正配置と有効活用を推進します。

指標（KPI）	基準値	目標値（令和11年度）
実質公債費比率 [*] を維持します	7.6%（令和5年度）	7.6%
将来負担比率 [*] を維持します	49.8%（令和5年度）	49.8%
公共建築物の延床面積を削減します（累計）	1.23%（令和6年度）	4%削減

(3) 情報システムの適正な管理と効率的な運用を図ります

国の進める自治体情報システムの標準化に合わせて運用管理の集約を図り、業務の効率化と情報システムの安定稼働を目指します。

指標（KPI）	基準値	目標値（令和11年度）
自治体情報システムの標準化及びガバメントクラウド ^{**} 移行を推進します（累計）	0業務（令和5年度）	20業務
インシデント ^{**} 事案発生件数を減少します	5件（令和5年度）	3件
情報基盤システムの運用管理の集約化を推進します	16契約（令和5年度）	5契約